

行政評価調書

事務事業名	農業祭	評価初年度	平成 28 年度
実施主体	農業祭実行委員会	担当部署名	産業経済部農政課
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	2	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 4
中項目	活力あふれる産業の振興	2	
小項目	農林水産業の振興	3	
		名称	水戸市農業基本計画（第4次）

1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	S51 年度	②事業の完了予定の有無（有/無）	無	年度
③事業の概要 (概要) 農業の振興と市民生活の向上を図るため、農産物直売や農産物共進会を開催することにより、水戸市の農業を広く紹介するとともに、生産者の意欲向上と水戸市産農畜産物の消費拡大を促す。 (主催) 産業祭実行委員会、農業祭実行委員会（市補助金）				
④事業の目的				
ア【対象】誰を（何を）対象に		対象者（平成28年4月1日）		
市民		約27万人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 水戸市産業祭（農業祭）の開催を通して、消費者である市民が本市農業の魅力に理解を深め、地産地消を推進するとともに、商工祭との合同開催することで産業の活性化を図る。				
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標 1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標 2				
指標	農産物共進会出品数	説明	各年度における農産物共進会への出品数	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 実行委員会が主催する生産者と消費者の交流のイベントであり、農業者団体（JA水戸）の自主的な運営を実現している。 なお、会場設営や電気施設等は、業務委託により対応している。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 農業祭は市内最大規模の農産物直売であり、消費者が生産者と顔を合わせる数少ない場である。また、市民ニーズも高く、同規模のイベントは他に類似事業は存在しないことから必要性が大きい。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 農業祭、商工祭を産業祭として合同開催しており、毎年多くの来場者でにぎわっており、農業を含め本市産業全体の活性化を図る目的から有効である。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業）				
内原ふれあいまつり				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察（市直営⇒民間・NPO、実行委員会⇒市直営、民間・NPO）				
農業祭を主催する実行委員会は、農業者団体であるJA水戸が中心的役割を果たし運営しており、水戸市との協働事業であることから生産者及び消費者への影響力があり、他の運営主体が実施するより効率的である。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2 農産物共進会出品数		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
25年度	54,000	85,000	157.4	1,100	939	85.4
26年度	54,000	82,000	151.9	1,100	1,118	101.6
27年度	54,000	33,000	61.1	1,100	1,051	95.5
28年度	54,000	42,000	77.8	1,100	788	71.6
29年度	42,000	53,000	126.2	1,100	828	75.3
30年度	53,000	69,000	130.2	1,100	674	61.3
31年度	69,000			1,100		
①目標値の根拠	来場者数前年度以上			課内方針		
②数値で表せない効果	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者と消費者の交流促進 ・農業者の生産意欲向上 					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）			②単位当たりの行政コスト （①行政コスト/成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）	支出内訳（千円）		
H 25 決算	国県支出金		旅費	19.41
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	1,650	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
			その他	
1,650				
H 26 決算	国県支出金		旅費	20.12
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	1,650	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
			その他	
1,650				
H 27 決算	国県支出金		旅費	50.00
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	1,650	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
			その他	
1,650				
H 28 決算	国県支出金		旅費	39.29
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	1,650	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
			その他	
1,650				
H 29 決算	国県支出金		旅費	31.13
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	1,650	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
			その他	
1,650				
H 30 決算	国県支出金		旅費	23.91
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	1,650	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
			その他	
1,650				
R 元 予算	国県支出金		旅費	
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	1,650	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
			その他	
1,650				

③コスト削減の取組

JA水戸直売部会員や学生ボランティアを活用するほか、商工祭との合同開催により来場者駐車場の整備等を事務局で実施する等経費の削減に努めている。

4 1年目評価

(1) 1次評価 (内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

事務事業の評価	必要性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	○	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	市内の生産者と消費者をつなぐイベントであり、必要である。
	○	④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	生産者、消費者の双方にメリットがありニーズが高い。
	○	⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	民間、NPO等に類似のイベントはない。
合計			評価結果	A
3	点			
事務事業の評価	有効性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
	○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-③有効性 ・2-成果指標	農業の生産の意欲向上や消費者が求める安全・安心な農産物の提供に繋がるものとして有効である。
		③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
	○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	全市民を対象にしたイベントである。
	○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	農業者団体が自ら事業主体となり運営を行っており手段が適切である。
合計			評価結果	A
3	点			
事務事業の評価	効率性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト	
	○	②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	JA水戸直売部会員や学生ボランティアを活用するほか、商工祭との合同開催により駐車場整備を事務局で実施するなど経費の削減に努めている。
	○	③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	生産者団体が自ら運営を行っており関係機関との調整など効率的である。
		④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	
		⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	
合計			評価結果	B
2	点			

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
方向性			
1 現状のまま継続			
2 見直しの上で継続			
	ア	主体を代える（実施主体を代える）	
	イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
	ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
	エ	簡素化する（規模を縮小する）	
	オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止、廃止			
②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。） これまで、天候の影響や駐車場からの距離など開催場所に課題があったことから、来場者数が安定してこなかった。安定した集客が見込めるように、今後の開始場所の検討を行う。 （参考）～平成26年度・・・水戸市総合運動公園 平成27年度・・・千波湖自由広場（雨で地面がぬかるみ出店者からも強く改善が求められている） 平成28年度・・・茨城県三の丸庁舎イベント広場			

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>評価する点、改善すべき点</p> <p>農業祭は、農業の振興・発展と市民生活の向上を目的とした、実行委員会が実施主体のイベントであり、商工祭と合同で産業祭として開催されている。</p> <p>本イベントについては、農業者と市民との交流の場として有益であるとともに、実行委員会による運営についても、おおむね評価できるものである。</p> <p>しかしながら、来場者が8万人を超える中、天候や駐車場によって集客に影響される状況は課題であり、担当課が十分認識しているように、開催場所の検討が必要である。アンケート結果や出店者・来場者の意向を踏まえた上で、適切な開催場所を選定していくべきである。</p> <p>また、イベントに要する費用は、市からの補助金及びJA水戸の賛助金により構成されるが、それぞれ同額の負担となっており、積算根拠を明確にするなど妥当性について検証が必要である。</p> <p>さらに、本イベントは、商工祭と合同で産業祭として開催されているが、商工祭は出店者から出店料を徴収している一方、農業祭はJA水戸会員から出店料を徴収していないなど相違があることから、関係団体をはじめ関係者が合理的と評価できるような検証が必要である。</p> <p>目標設定についても、イベント来場者数の目標は農業祭と商工祭で異なるが、実績は産業祭として同じ実績になっている。そのため、商工祭実行委員会と協議して、目標設定の統一などを図るべきである。</p> <p>広報についても、JA水戸会員あての広報だけでなく、商工祭と連携をし、水戸市民にとどまらず、茨城県民や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討するべきである。</p> <p>そのため、1次評価の「見直しの上で継続（手段を改善する）」は、妥当である。</p> <p>なお、農業祭及び商工祭は、合同で産業祭として実施されているイベントであり、二つのイベントを分けて審議することが難しいことから、次年度以降の評価のあり方について検討するべきである。特に収支報告については、産業祭としてのものを用意した上で、農業祭と商工祭単独のものを作成してもなお不公平や矛盾が生じないよう、対応を進めるべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>農業祭は、実行委員会が実施主体のイベントであり、商工祭と合同で産業祭として開催され、農業者と市民との交流の場として有効であるとともに、実行委員会による運営についても適切に実施されている。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、天候や駐車場によって集客に影響が出る状況は課題であるため、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、開催場所を検討する必要がある。</p> <p>また、イベントに要する費用は、市からの補助金及びJA水戸の賛助金で構成され、それぞれ同額を負担しているが、補助額の妥当性等の観点から、支出内容を精査し、費用対効果について検証する必要がある。</p> <p>さらに、来場者数の目標設定については、商工祭実行委員会と協議して統一を図る必要があるほか、広報についても、市外や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討する必要がある。</p> <p>そのため、「見直しの上で継続（手段を改善する）」とする。</p> <p>なお、次年度以降の評価方法については、行政評価委員会からの意見にあるとおり、産業祭としての収支報告も作成した上で、商工祭と合同で評価を行うなど、検討するものとする。</p>	

※2次評価に記載のある「出店料」について

本イベントは、商工祭と合同で産業祭として開催されており、商工祭は出店者から出店料を徴収している一方、農業祭はJA水戸会員から出店料を徴収していないなど相違があることについて、2次評価において指摘を受けたところである。

市内農産物の多くは、JA水戸を通じて出荷されていることから、農産物直売は、農業祭の事務局であるJA水戸が主催し、JA水戸が販売する形で実施しており、当初から出店料の徴収といった考えはない。そのため、農業祭に係る経費は、水戸市からの補助金とJA水戸からの賛助金により支出しているものである。

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。）

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	商工祭との合同開催であるため、商工祭実行委員会と協議し、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、来場者及び出店者の利便性が向上するよう、開催場所を検討するとともに費用対効果を検証する。また、来場者数の目標設定について統一を図るとともに、効果的なPR方法を検討する。
-----------------------	---

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>平成28年度について、1年目改善目標である開催場所の検討を行った結果、天候等によって集客に影響があることは懸念されるものの、水戸駅から近く公共交通の利便性が良いこと、まちなかのにぎわいに寄与すること、雨天時の水はけが良いことなどの条件等を考慮し、茨城県三の丸庁舎イベント広場で開催した。なお、各実行委員会との協議及び産業祭来場者からのアンケート結果より、来場者駐車場等についての意見があったものの、開催場所はおおむね好評であったと評価することから、更なる来場方法の確保を検討しつつ、本年度も引き続き、同場所での開催に向けて各種手続を進めることとする。</p> <p>費用対効果としては、産業祭来場者アンケート等から計算した経済波及効果が105百万円（商工課が来場者消費額等から算出）あり、一定の効果があつたと考える。</p> <p>目標数（来場者数）については、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会と協議し、今年度から統一を図った。</p> <p>イベントPRの手法としては、平成28年度から民間事業者に協力を依頼し、タウン誌へ掲載を行ったほか、市や商工会議所のSNS等の活用による各種広報を強化した結果、来場者数が増加した。</p>
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項（行政評価委員会からの指摘事項など）</p> <p>農業祭は、昨年度の評価を受け、開催場所の検討、費用対効果の検証、商工祭との来場者数の目標設定の統一及び効果的なPR方法の検討を改善目標として掲げているところである。</p> <p>このうち、開催場所の検討については、昨年度、会場を千波湖イベント広場から茨城県三の丸庁舎イベント広場に変更して開催したところ、概ね好意的なアンケート結果であったこと、来場者数の目標設定の統一については、農業祭実行委員会及び商工祭実行委員会において協議して統一を図ったこと、効果的なPR方法の検討については、民間事業者の協力によりタウン誌へ掲載するとともに、市や商工会議所のSNS等を活用したPRを実施し、広報手段を強化したことなどが認められた。</p> <p>しかしながら、費用対効果の検証については、経済波及効果を検証し一定の効果を確認したものの、産業祭実行委員会としての会計では、農業祭実行委員会及び商工祭実行委員会の共通経費に係る費用負担の根拠が不明確である。特に、分担金は、農業祭実行委員会から商工祭実行委員会に対して支出され、共通経費としてチラシの作成費や警備費に充てているが、商工祭実行委員会に比べ、農業祭実行委員会の費用負担が小さく、これに対する合理的な理由が見いだされていないと思われる。分担金を含めた費用負担のあり方については、実行委員会ではこれまで特に課題となってきたところであるが、市民に対して説明責任を果たすためには、費用負担の割合を取り決めするなど根拠を明確にするべきである。</p> <p>このようなことから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)</p> <p>農業祭は、開催場所の検討、費用対効果の検証、商工祭との来場者数の目標設定の統一及び効果的なPR方法の検討を2年目評価における改善目標としている。</p> <p>このうち、開催場所の検討については、昨年度、会場を千波湖イベント広場から茨城県三の丸庁舎イベント広場に変更して開催したところ、おおむね好意的なアンケート結果であった。また、来場者数の目標設定の統一については、農業祭実行委員会及び商工祭実行委員会において協議して統一を図った。さらに、効果的なPR方法の検討については、民間事業者の協力によりタウン誌へ掲載するとともに、市や商工会議所のSNS等を活用したPRを実施し、広報手段を強化した。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、費用対効果の検証については、経済波及効果を検証し一定の効果を確認したものの、産業祭実行委員会としての会計では、農業祭実行委員会及び商工祭実行委員会の共通経費に係る費用負担の根拠が不明確である。特に、分担金は、農業祭実行委員会から商工祭実行委員会に対して支出され、共通経費としてチラシの作成費や警備費に充てているが、商工祭実行委員会に比べ、農業祭実行委員会の費用負担が小さいなど、農業祭実行委員会及び商工祭実行委員会の費用負担の割合の根拠が不明確であることから、費用負担の割合を取り決めるなど根拠を明確にする必要がある。</p> <p>このようなことから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

7 2年目改善目標 (2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	評価継続
<p>改善目標 (又は休止、廃止の方向性)</p>	<p>分担金を含めた共通経費に係る費用負担について、産業祭実行委員会において協議、決定するなど、明確化に努める。</p>

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価 (内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>産業祭実行委員会において、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の分担金を含めた共通経費等の費用負担について協議を行い、平成30年度産業祭の負担割合を決定した。</p>
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項 (行政評価委員会からの指摘事項など)</p> <p>農業祭は、昨年度の評価を受け、分担金を含めた共通経費に係る費用負担について、産業祭実行委員会において協議、決定するなど、明確化に努めることを改善目標として掲げているところである。</p> <p>このため、今年度の産業祭実行委員会において、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の分担金を含めた共通経費等の費用負担について協議を行い、平成30年度産業祭の負担割合が決定されたとのことである。</p> <p>しかしながら、昨年度の評価では、市民に対して説明責任を果たす観点から、両委員会の費用負担の根拠の明確化が課題とされたところであるが、両者間の合意による決定のみで、根拠が明確になったものではない。そのため、出店者等の関係者はもちろんのこと、市民が理解できる形で、根拠の明確化を図るべきである。</p> <p>このようなことから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項 (行政改革推進本部からの指示事項など)</p> <p>農業祭は、分担金を含めた共通経費に係る費用負担について、産業祭実行委員会において協議、決定するなど、明確化に努めることを3年目評価における改善目標としている。</p> <p>このため、今年度の産業祭実行委員会において、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の分担金を含めた共通経費等の費用負担について協議を行い、平成30年度産業祭の負担割合を決定した。</p> <p>しかしながら、昨年度の評価において市民に対して説明責任を果たす観点から、両委員会の費用負担の根拠の明確化を課題としたところであるが、両者間の合意による決定のみで、根拠が明確になったものではない。そのため、出店者等の関係者はもちろんのこと、市民が理解できる形で、根拠の明確化を図る必要がある。</p> <p>このようなことから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

9 3年目改善目標 (3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	評価継続
<p>改善目標 (又は休止、廃止の方向性)</p>	<p>産業祭実行委員会において協議、決定している共通経費等の費用負担について、説明責任を果たす観点から、根拠の明確化に努める。</p>

10 4年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況

共通経費の費用負担の根拠については、共通経費を除いた産業祭決算額における商工祭、農業祭のそれぞれ占める割合に応じた額を負担することに決定した。これを受け、農業祭が負担する分担金については、会場設営費や広報宣伝費などの共通経費約180万円のうち、産業祭決算額に占める農業祭の割合(おおよそ3割)に相当する55万円とする。

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性

○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性

○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)

11 4年目改善目標(4年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標
(又は休止、廃止の方向性)

(別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

※農業祭の事業費内訳

(収入)

科目	金額(円)							増減(30-29年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算		
1 補助金(水戸市)	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000		
2 寄附									
3 賛助金(JA水戸)	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000		
4 諸収入	138,554	132,163	110,480	110,985	98,526	97,160	100,000	-1,366	
合計	3,438,554	3,432,163	3,410,480	3,410,985	3,398,526	3,397,160	3,400,000	-1366	

(支出)

科目	金額(円)							増減(30-29年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算		
1 会場設営費	844,500	863,742	761,238	884,142	893,862	881,442	900,000	-12,420	
設営費	724,500	743,742	761,238	884,142	893,862	881,442	900,000	-12,420	
工事費									
賃借料	120,000	120,000							
2 イベント費	1,633,955	1,611,022	1,751,693	1,638,409	1,513,297	1,490,330	1,560,000	-22,967	
(共進会、展示コーナー等)									
3 広報宣伝費									
4 会議費	63,460	37,907	68,130	64,000	65,437	41,256	70,000	-24,181	
5 管理運営費	260	2,080			23,290		30,000	-23,290	
警備費					21,600			-21,600	共進会テントの警備(11月23日)
諸費	260	2,080			1,690			-1,690	
6 事務費	346,379	367,412	279,419	274,434	255,558	434,132	290,000	178,574	
印刷費	51,600	51,600	42,400	48,600	79,100	79,300	80,000	200	
通信費	560	732	8,987	1,558			10,000		
消耗品費	171,779	199,460	133,152	116,846	84,143	262,847	100,000	178,704	
雑費	122,440	115,620	94,880	107,430	92,315	91,985	100,000	-330	
7 予備費					97,082			-97,082	
8 分担金	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000		
合計	3,438,554	3,432,163	3,410,480	3,410,985	3,398,526	3,397,160	3,400,000	95,716	

(収支)

科目	金額(円)						
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算
合計							

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 農業祭

(実施主体等との関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
農業祭実行委員会	主催	(農業祭) 本部, ステージ, 案内, 広報
産業祭実行委員会	主催	(産業祭) 本部, ステージ, 案内, 広報
水戸市	共催	本部, 農産物共進会, 出店団体調整, 広報
イベント会社	その他	ステージ設営等, テント, 机, 椅子

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成30年度実績 (開催日: 11月17日, 11月18日)

	人数	主な業務
市職員	5人程度	本部1人, 農産物共進会4人
農業祭実行委員会	3人程度	本部2人, 案内1人
ボランティア	100人程度	店舗運営ボランティア
産業祭実行委員会	2人程度	本部2人
計	110人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成30年度実績

年月	内容
平成30年5月16日(水)	産業祭第1回ワーキンググループ会議(商工祭合同開催に向けた顔合わせ, 内容協議等)
平成30年7月11日(水)	産業祭第2回ワーキンググループ会議(会場確認, ステージ内容協議等)
平成30年10月17日(水)	実行委員会, 実施委員会(スケジュール確認, 役割分担確認, 会場説明等)
平成30年11月15日(木)	農産物共進会審査委員会(審査会実施)
平成30年11月17日18日	農業祭実施

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数(人)(A)	係員数(人)(B)	総数(人)(A+B)
24年11月17日~18日	第37回	水戸市総合運動公園	65,000	110	65,110
25年11月16日~17日	第38回	水戸市総合運動公園	85,000	110	85,110
26年11月15日~16日	第39回	水戸市総合運動公園	82,000	110	82,110
27年11月14日~15日	第40回	千波公園ふれあい広場	33,000	110	33,110
28年11月19日~20日	第41回	県三の丸庁舎イベント広場	42,000	110	42,110
29年11月25日~26日	第42回	県三の丸庁舎イベント広場	53,000	110	53,110
30年11月17日~18日	第43回	青柳運動公園体育館	69,000	110	69,110

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員(市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等)を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	事業費(千円)	備考
ひたちなか市	推進協議会	ひたちなか市産業交流フェア	平成30年度	30,000	70	30,070	19,680	農業、交通、科学館同時開催 11月3・4日開催
那珂市	実行委員会	那珂市産業祭	平成30年度	8,500	30	8,530	4,533	10月27日開催
						0		
						0		
						0		

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	(無)

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。